

コード	205030501
記入日	H21.6.8

事務事業途中評価表

課コード	106
課名	総務課
課長名	近藤忠博
担当者	宇戸佐一郎

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	防火水槽新設工事	事業種類	単年度繰返事業
		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	9
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	1
基本事業コード	20503	基本事業名称	消防団組織と消防施設の充実	目コード	3
事務事業コード	2050305	事務事業名称	石油立地交付金事業費(消防施設)	細目コード	1041
関連計画			法令・条例規則等		

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。						
対象: 誰、何を対象にしているのか			対象指標: 対象の大きさを表す指標					
(対象1) 防火水槽			(対象指標1) 1基					
(対象2)			(対象指標2)					
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)					
(全体)		(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****		防火水槽100t級 1基新設 (新魚目曾根地区)	***** 設置基数	***** 1	***** 100%	設置予定1箇所÷設置箇所1箇所	***** 平成20年度	
			①	(達成率分析) 計画どおり、1基設置した。				
			*****	*****	*****			
			②	(達成率分析)				
目的: 何をしたいのか			成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)					
火災発生時における水利の確保のため、防火水槽を設置した。			(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
			***** 正常に利用できた日	***** 31	***** 100%	正常に利用できた日数31日÷利用可能日数31日	***** 平成20年度	
			①	(達成率分析) 設置したことにより、水利の確保ができた。				

			②	(達成率分析)				

実施 (DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。											
	単位	全体計画		平成19年度以前	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 箇所	1	1	0	1	1					
	②										
成果指標	① 日	31	31	0	31	31					
	②										
総事業費C (A+B)		千円	8,213	7,735		8,213	7,735				
直接事業費 A		千円	7,513	7,035		7,513	7,035				
人件費 B		千円	700	700		700	700				
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1		0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源		千円	8,213	7,735		8,213	7,735				

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	火災発生時における、町民の生命・財産を守ることは、町の責務である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	行政が行うべきもので、不変的なものである。
	事業の対象・目的は適切ですか。	● 適切 ● 不適切	理由	火災発生時における、重要な水利である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	設置することにより、火災発生時の水利としての機能を発揮できる。
	成果を向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	適正に設置されている。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	● ある ● ない	理由	水利が無ければ、火災発生時の消火活動に支障をきたす。
	類似事業との整理統合はできませんか。	● できる ● できない	理由	類似事業がない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	● できる ● できない	理由	必要最小限の事業費のため削減できない。
	人件費を削減することはできませんか。	● できる ● できない	理由	人件費はない。
	受益者負担は適正ですか。	● はい ● いいえ	理由	受益者の負担は、発生しない。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	水利の確保は、火災発生時の消火活動に必要である。
		有効性	設置することにより、火災発生時の水利としての機能を発揮できる。
		効率性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおりに
		有効性	設置に当たっては効率的な配置となるよう計画的に進め、維持管理には万全を期すこと。
		効率性	施設設計を吟味しより効率的な経費の執行に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。